

# 『大』キヤッチ プレス

Matsubara Daisuke Seto City Report

## 松原大介

瀬戸市議会議員



2021年10月発行

Vol.09

### 祖母懐小学校跡地活用の 進捗状況について

令和3年7月27日に祖母懐地区協議会が開催され、跡地活用事業のゾーニング案が示されました。  
(左下図) 住宅用地70～80戸程度、公園（メモリアルパーク）、保育園（東保育園を新築移転予定）、放課後児童クラブという案でした。順調に進めば、令和4年3月から住宅用地の事業者募集を開始します。

祖母懐地区協議会の方々からは、概ね賛成の意見のように感じましたが、ここから幹線道路へ接続する道の拡幅整備を望む声が多く聞かれました。



#### 塩草町の一部（新しいエリア）が「塩草が丘」 に変わります

塩草町のうち、土地区画整理事業として新しく住宅地ができたエリアを、塩草町から「塩草が丘1～4丁目」に変更となります。

#### 路面化空洞対策として道路を調査します

瀬戸市池田町で起きた道路陥没事故を受け、市内10.5kmの道路について、路面下の空洞の有無を把握するため、空洞調査を行うことになりました。



陥没事故の未然防止を図ります。



第5回

みんなとオンラインで zoom

しゃべくり広場

日時：10月21日（木）  
20：00～21：30  
オンライン開催（ZOOM）

（記録のため録音させていただきます。）

## 「公園について話しませんか。」

瀬戸市にある公園について、みなさまがどのように思っているか教えてください。近所の公園から大きな公園まで、公園について意見交換をしてみたいと思います。

申し込み：先着20名様程度

松原大介応援クラブFacebookのイベントページから、またはSNS、電話、メールなどで直接お問い合わせください。ミーティングID、パスワードをお伝えします。

参加費：無料

## 松原大介の一般質問

### 老朽空き家等解体補助事業の拡充と 解体後の税額減免について

本市の空き家対策計画は「空き家等の利活用」に主眼が置かれ、今後に期待される場所ですが、昭和56年以前に建てられた建物（旧耐震建築物）で、空き家状態となり、利活用に適さない建物に対する本市の施策として、老朽空き家等解体補助事業が展開されています。しかしながら、本事業は、縮小傾向にあるのが現状です。

また、老朽空き家を放置する要因として、更地にすることで土地の固定資産税等が増額することが挙げられます。今回の質問は、本事業の拡充に加え、市民側の負担軽減のための施策を付加することで、より高い効果を得られることを検証し、これを提案するものです。

質問：本事業は、市民からの要望も受け、令和元年度より対象区域を中心市街地から市街化区域内に広げたが、補助件数を27件から10件に減らした。なぜか。

答弁：事業の中長期的継続性及び本市の事業規模とを考慮し、件数と金額を決定した。

質問：令和元年度の受付件数は33件、補助件数は抽選を行い、10件であった。2年度も同傾向だが、この実績は、市民からのリクエストに応えられているか。

答弁：実績からは決して十分ではない。補助金の対象件数を増やすことも必要。事業の継続性も重要なのでバランスを考慮していく必要がある。



詳しくはこちら！  
Youtube動画



質問：老朽空き家の解体後は、数年間、固定資産税等を減免することで税額を据え置くなどの制度があれば、市民が安心して本事業の利用ができると考えるが、見解を伺う。

答弁：税額の減免については、税制の公平性・公正性の観点から導入は考えていないが、国・県・他市町村の動向を注視していく。

松原意見：ポイントは、「わざわざ壊すよりほっといたほうが税金安い！」という事実に対してどうアプローチするか。今後に期待します。

松原大介応援クラブ

〒489-0055 愛知県瀬戸市滝之湯町24-1

TEL：0561-76-3153

Email：d.matsubara3153@gmail.com

Instagram



facebook



松原大介応援クラブ  
ホームページ

